

第76回定期大会を開催 2025年度運動方針・役員体制を決定

市労連は、3月25日午後4時30分から神戸市教育会館において第76回定期大会を開催しました。議長団に徳永(神戸教組)、城井(市高)両代議員を選出し、はじめに主催者を代表して北川執行委員長があいさつを行いました。引き続き、来賓を代表して久元神戸市長、那須連合兵庫会長、山下自治労兵庫県本部執行委員長、横畑こうべ未来市会議員団団長からあいさつを受けました。議事では、2024年度活動経過報告、会計決算報告を承認し、2025年度運動方針、一般会計予算、役員体制など、向こう1年間のたたかう方針を決定し、市労連の団結と共闘を強化して取り組みを進めていくことを確認しました。

主催者を代表して北川執行委員長は、「全世代のモチベーションが維持・向上できる給与水準の引上げを求める。職場における助け合い・支えあい、そして交渉による賃金・労働条件の改善や、職場課題の解決によって、誰もが安心して働き続けられ、働き続けようと思える職場をつくるのが労働組合活動の基本であり、市労連組合員の生活を守り、神戸市政を発展させる立場で、神戸市労連はその先頭をたたくて奮闘する。」と挨拶しました。

来賓の久元市長は、「神戸市で働く職員みなさんが安心して、前を見て仕事ができる職場環境をつくっていかねばなりません。勤務条件に関することは労使交渉を行う。それ以外のことについてもしっかりと話し合いたい。」と挨拶をうけました。

報告事項として、活動経過報告を西川書記次長から提案し、2024年度の取り組みについて、春闘期から勧告期、賃金確定期の賃金闘争のたたかい、労働条件を改善するたたかいなどの経過報告を行いました。続いて、坂倉会計から2024年度会計決算報告、小山会計監査から会計監査報告が行われ、それぞれ承認されました。

第1号議案2025年度運動方針(案)については、徳留書記長から、具体的な運動方針の提案を行いました。厳しい状況下での活動の基本方針として、反労働者的な行政改革、合理化攻撃に対し、働く者の生活と地位の向上・権利の拡充をめざすとともに、生活と労働条件を改善するたたかい、社会保障、制度要求実現のたたかい、地方自治・地方公営企業・民主教育を守るたたかい、平和と人権・民主主義を守るたたかいなどに取り組む。また政治活動のたたかいでは、国民主体、平和と民主主義を守り、勤労国民の立場にたつ民主的な勢力の拡大に努力していく。市労連共闘、大都市労連共闘、連合神戸地協との共闘を強化していくなどの提案を行いました。2025年度運動方針(案)は、圧倒的多数で可決承認されました。続いて、第2号議案の2025年度一般会計予算(案)を坂倉会計から、第3号議案の規約改正(案)を矢野書記次長から、第4号議案の役員選出について(案)は、宮本役員選考委員長から2025年度の役員体制(案)が提案され、それぞれ承認されました。この後、大会宣言と大会スローガンを確認し終了しました。

新執行部体制決定

第76回定期大会で、新執行部体制が次の通り決定しました。なお、この大会で、五百旗頭(交労)副執行委員長、西川(神戸教組)書記次長、長石(水労)、中村(神戸教組)、森田(市高)執行委員が退任されました。今後のご活躍を心から祈念いたします。

2025年度 神戸市労連役員体制

役職名	氏名
執行委員長	北川 学 (市職労)
副執行委員長	小原 王之 (市従)
〃	奥 博之 (交 労)
〃	久 常 順 治 (水 労)
〃	柴 田 健 太 郎 (神 戸 教 組)
〃	橘 和 雄 (市 高)
書記 長	徳 留 慎 治 (市 従)
書記 次 長	長 島 孝 昌 (市 職 労)
〃	矢 野 勝 洋 (水 労)
〃	松 田 里 香 (神 戸 教 組)
会 計	坂 倉 正 和 (交 労)

執行委員	氏名
〃	飯 田 雅 子 (市 職 労)
〃	黒 田 崇 (〃)
〃	村 上 敏 光 (〃)
〃	小 寺 忠 則 (〃)
〃	田 村 彰 啓 (〃)
〃	前 田 祐 太 郎 (市 従)
〃	長 谷 川 克 彦 (〃)
〃	吹 田 勇 人 (〃)
〃	藤 野 雄 大 (交 労)
〃	佐 藤 秀 樹 (〃)
〃	宮 本 和 浩 (水 労)
〃	高 橋 英 樹 (〃)
〃	小 川 紀 子 (神 戸 教 組)
〃	千 葉 晋 也 (〃)
〃	徳 永 勇 二 (〃)
〃	佐 藤 義 朗 (〃)
〃	横 山 卓 司 (市 高)
〃	城 井 直 史 (〃)
会計監査	黒 田 聖 子 (市 職 労)
〃	山 本 由 美 子 (市 従)
〃	小 山 純 平 (水 労)
〃	佐 藤 義 朗 (神 戸 教 組)
〃	黒 川 祐 司 (市 高)

